

12月の行事予定

令和元年11月15日

◆開校50周年記念事業を終えて◆

開校50周年記念事業が全て終了しました。歴史や伝統、そして現在の子供たちの思いが凝縮された濃密な時間となりました。

記念式典には、本校の第1回卒業生でもある釧路市長蝦名大也様をはじめとした御来賓の方々、OB教職員、卒業生、在校生、約1200名が参加し厳粛かつ温かな雰囲気です式を執り行うことができました。

また式中の合同合唱「変わらないもの」は、これまでの50年間、そしてこれからの未来に思いを馳せながら、児童生徒650名で心をつなげて歌い上げました。御来賓・主催者の方をはじめ多くの出席者から「とても感動しました」「思わず泣いてしまいました」という感想を頂戴しました。

3日(日)には、卒業生を対象に学校を開放し、校内を見学することができるようにしました。50名以上の卒業生が来校し、「ここ(現在2年生トイレがある場所)に昔はうさぎ小屋があったんですよ」「〇〇先生と一緒に木登りしたのを思い出しました」「掲示物などを見ていると、附属小学校児童が伸び伸びと成長していることが伝わってきて嬉しい気持ちになります」「式典に臨む姿や合唱、本当に素敵でした」など、たくさんの思い出話と共に、現在通っている附小の子たちの素晴らしさを伝えてくれました。

「温故知新」「不易と流行」など、時代の流れの中で耳にする言葉はたくさんありますが、何よりも大切なのは「今ここ」に在ることの意味や価値を自覚することなのだ改めて感じた周年行事となりました。

日	曜	行 事 等	
1	日		
2	月	●附属運動推進日 ●スクールカウンセラー来校 ●学芸会プログラム等配付	
3	火	●朝読書 ●感冒調査開始 ●教員経験2年次研修(5h:5-2公開)	
4	水	★会議(15:40~17:00頃)	
5	木	●朝読書(12月から毎週火・木曜日に実施) ●学校臨床研修*大学授業への協力(5h:山崎教諭)	
6	金	●学芸会DVD申込封筒配付 ●フィールド学生来校(最終)	
7	土		
8	日		
9	月	●代表委員会 ●乗り入れ英語(6年) ●教員経験2年次研修(5h:3-2公開) ●図書返本期間(~14日まで)	
10	火	●朝読書 ●感冒調査 ●新入出願受付期間終了	
11	水	●学芸発表会・学級懇談会(高学年)	
12	木	●学芸発表会・学級懇談会(中学年) ●朝読書 ●アセス実施・面談期間(~20日)	
13	金	●学芸発表会・学級懇談会(低学年) ●スクールカウンセラー来校 ●学校評価期間(~20日)	
14	土		
15	日		
16	月	●児童委員会(6年生最終) ●冬休み図書貸出(~20日まで) ●美化美化ウィーク(~20日まで) ●スクールカウンセラー来校	
17	火	●朝読書 ●感冒調査 ●食育の日(6年生) ●6年生面接指導① ★会議(16:00~17:00頃)	
18	水	●6年生面接指導② ★会議(15:40~17:00頃)	
19	木	●朝読書 ●PTA各委員会反省集約等案内文書配付	
20	金	●終業日 ●朝会 ●学芸会DVD申込×切 ●学芸会写真申込案内配付(申込期間12/23~1/5, 払込×切1/7) ★会議(15:40~17:00頃)	
21	土	●冬休み開始(~1月14日まで) ●附属釧路中学校入学選考	
22	日		
23	月	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>■12月の生活目標 時間を大切に、はじめのある生活をしよう</p> <p>■給食指導の重点 健康を考えて、バランスよく食べよう ~冬の食事について考えよう~</p> </div>	
24	火		
25	水		
26	木		●給食費、PTA会費引落日
27	金		
28	土		
29	日		
30	月	●学校閉鎖	
31	火	●学校閉鎖	

【1月の主な行事】

- 1日(水)~5日(日) 学校閉鎖
- 16日(木)~30日(木) 冬休み作品展
- 7日(火) 附属小学校新入学選考日
- 17日(金) 北国タイム(低学年午前授業)
- 8日(水) 附属小学校入学選考合格発表
附属中学校入学選考合格発表
- 21日(火) CRT学力検査
- 22日(水) CRT学力検査
- 15日(水) 始業日
- 31日(金) 親子一日入学(新入児童保護者対象)



「変わらないもの」と変わるもの

2日、そして6日に開催された「50周年記念事業」に際しましては、当日はもちろん、準備も含めてたくさんの方の保護者の皆様に御協力を賜りました。ありがとうございます。

さて、その式典や単独記念事業における子供たちの合唱「変わらないもの」。いかがでしたでしょうか？ 特に、式典は中学校の生徒も加えた合同合唱でしたので、すばらしい響きになりました。

話は変わって、「子育て」ならぬ『孫育て』ハンドブック」なるものを御存知ですか？

お父さん・お母さん世代と、おじいちゃん・おばあちゃん世代との子供への関わり方のギャップを解消するために、子育ての今と昔の比較や、成長に合わせた今どきの育児などを分かりやすく解説した内容で発行する自治体が増えてきているそうです。

自分の時は… または、お兄ちゃん・お姉ちゃんのころは当たり前と考えられてきたことが、時代とともに変化してくるものが多々あります。

また、「郷に入っては郷に従え」という言葉がある一方で、「当たり前」と考えてきたことが、実は広く見たら一般的ではなかったということもあります（儀式的行事の「修礼」は北海道または東北の一部の人しか分からない？ 宴席を「乾杯」でめるのは北海道だけ？…）。

学校の教育活動も同様です。

「すべては子供たちのよりよい成長のために…」という思いは、いつの時代も「変わらないもの」です。

しかし、学習内容の増加をはじめ、教育活動は増える一方です。

「これまで行ってきたから」ではなく、子供たちのよりよい成長のためには何が必要か、限られた時間（本校でいえば週最大30時間）の中で何ができるのか、そして本校の存在意義としてやらなければならないことは何か、改めて精選（整理・整頓）する必要性が生じています。

日常の授業はもちろんですが、保護者の皆様が実感されやすいと思われる「学校行事（宿泊的行事や学芸発表会等）」も少しずつ改善を図っています。

後日、今年度も保護者の皆様に「附小の教育活動アンケート」を御依頼する予定です。ぜひ忌憚のない御意見をお聞かせください。